

Webアプリ制作課題
...

課題の取り組みについて

- Webページのスタイルは自由にしていよい。（Bootstrapなども使用可）
- 課題資料にある画面と全く同じ画面を作成しなくてもよいが、説明にある機能や動作は実装すること。
- 危険性(SQLインジェクション、クロスサイト・スクリプティング攻撃)のある処理は対策を考慮したコーディングを行う。
（参考：<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html>）
- 課題ごとにあるチェックシートに書かれた項目について、動作確認されていること。
- Webアプリは1つの課題に対して各言語版1つずつ制作する。
- どの言語版から作成してもよい。

課題の取り組みについて

- 1つのWebアプリを作成できたら講師に報告し、講師用PCから使用しているPCへアクセスし動作確認する。
 - 講師にPCのIPアドレス[WebアプリのURLパス]を伝える
- 講師とともにチェックシートの各項目について動作確認を行い、チェック項目すべてに問題がなければ、次ページに記載している提出物をMicrosoft Teamsのチャットで送信する。
- そして次の課題に取り組む。
- 5つの課題をすべて提出できた場合は、自身で考えたWebアプリを制作し、できたところまでを授業の最終日に報告・提出する。
 - すべての言語版をまとめて報告・提出する。

提出物と提出方法

【提出物】

- ソースコードとその他必要ファイル一式(HTML,CSSなどがある場合)をZIPに圧縮して提出する。
 - Webアプリの動作するフォルダ環境ごとアーカイブする
- 次の内容が書かれたWebアプリの説明文書を作成し、ZIPに含める。
 - フォルダ構成（各フォルダとファイルの説明）
 - 機能と実装内容の説明（どのような機能をどのように実装したか）
 - 文書の種類と記述方法は自由で画面のスクショ、図、コードなどを用いてよい
- ZIPファイル名は、次の形式とする。([課題名]_[言語]_[名前]_[作成日].zip)
 - 例) 課題1_PHP_山田太郎_20250707.zip

【提出方法】

- Microsoft Teamsのチャットを使い、講師宛にファイルを添付し送信